



GIGAPRIZE



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月14日

上場会社名 株式会社ギガプライズ 上場取引所 名
 コード番号 3830 URL https://www.gigaprize.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 寿洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 植田 健吾 TEL 03-5459-8400
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の連結業績（2024年5月1日～2025年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	15,999	-	2,982	-	2,981	-	2,039	-
2024年4月期第3四半期	14,355	13.0	2,534	24.3	2,528	25.6	1,717	30.1

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 2,039百万円 (-%) 2024年4月期第3四半期 1,714百万円 (29.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	141.75	141.35
2024年4月期第3四半期	118.24	117.94

(注) 当社は、2024年4月期より決算日を3月31日から4月30日に変更しております。これに伴い2025年4月期第3四半期（2024年5月1日から2025年1月31日まで）は、比較対象となる2024年4月期第3四半期（2023年4月1日から2023年12月31日まで）とは対象期間が異なるため、2025年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	15,770	10,463	66.3
2024年4月期	14,981	8,837	58.7

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 10,457百万円 2024年4月期 8,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2025年4月期	-	0.00	-	-	-
2025年4月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年1月31日付「支配株主であるフリービット株式会社が出資する株式会社LERZによる当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」及び「2025年4月期の期末配当予想の修正（無配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」にて公表したとおり、2025年4月期の期末配当を行わないこととしました。

3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	—	4,016	—	4,004	—	2,778	—	191.76

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 決算期変更の経過期間となる2024年4月期は、2023年4月1日から2024年4月30日までの13ヶ月決算となるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
 新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期3Q	17,078,400株	2024年4月期	17,078,400株
② 期末自己株式数	2025年4月期3Q	2,672,365株	2024年4月期	2,715,319株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期3Q	14,384,408株	2024年4月期3Q	14,524,889株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は決算期変更に伴い、前連結会計年度は13ヶ月の変則決算となっており、第3四半期連結累計期間は第28期(2023年4月1日から2023年12月31日まで)と第29期(2024年5月1日から2025年1月31日まで)で対象期間が異なっております。このため、参考情報として前第3四半期連結累計期間の実績値を記載しております。

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますが、物価上昇、国際情勢不安や、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの事業は、アパートやマンション等の集合住宅を中心にインターネット設備の提供を主なサービスとするHomeIT事業と、企業の社宅管理業務の代行を主なサービスとする不動産事業の2つから構成されております。これらの事業をとりまく外部環境は、以下のとおりと認識しております。

HomeIT事業におきましては、集合住宅市場、情報通信業界の動向を注視しております。

集合住宅市場のうち、新築物件は、インターネット設備の標準化やオートロック、防犯カメラ等のデジタルツールの導入が進んでおり、それぞれの導入数は堅調に推移すると見込まれております。既存物件においても、入居率向上につながるインターネット設備の高速で安定した通信回線への切替えや、防犯カメラやスマートロックといったセキュリティ関連サービスの導入率が高まっております。

情報通信業界では、AIの普及、IoT等のデジタルツールの利用拡大など、デジタル化の進展により、国内のデータ流通量は増加を続けており、安全で安定した通信インフラが求められております。

このような環境の下、HomeIT事業につきましては、営業体制の充実による新規顧客の獲得、更なるサービス品質の向上に取り組み、当社の重要指標であるサービス提供戸数の拡大を目指してまいりました。

不動産事業におきましては、不動産業界の動向を注視しております。

不動産業界では、デジタル技術の導入による業務の効率化と生産性の向上が進む中、顧客に新たな価値を提供し、市場での差別化を図ることが必要とされています。

このような環境の下、不動産事業につきましては、社宅管理代行サービスの取扱い件数拡大に注力するとともに、提携不動産会社の協力のもと、各種サービスの拡販に取り組んでまいりました。テナント運営サービスにつきましては、複合施設「LIVINGTOWN みなとみらい」の認知度及び集客力の向上に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高15,999百万円(前第3四半期連結累計期間14,355百万円)、経常利益2,981百万円(前第3四半期連結累計期間2,528百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,039百万円(前第3四半期連結累計期間1,717百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

HomeIT事業

HomeIT事業は、集合住宅向けISP(※1)サービス、IoTソリューションサービス、ネットワークサービス、システム開発から構成されております。

集合住宅向けISPサービスにつきましては、サービス提供戸数の新規獲得に向けて、OEM提供先企業との連携及び当社営業拠点の強化に加え、販売パートナーの開拓など、販売ネットワークの拡充に取り組んでまいりました。

この結果、新築物件及び既存物件ともにサービス提供戸数を伸ばし、集合住宅向けISPサービスの提供戸数については、前連結会計年度末1,209,522戸に比べ90,305戸増加し1,299,827戸となりました。

IoTソリューションサービスにつきましては、主に集合住宅向けクラウドカメラやスマートロック等のサービスを提供しております。クラウドカメラサービスにつきましては、OEM提供先企業への導入標準化を推進するとともに、新たな市場への販売体制の強化に取り組んでまいりました。IoTサービスにつきましては、パートナー企業と連携し、集合住宅向けISPサービスのOEM提供先企業を中心にスマートロック等の拡販に注力してまいりました。

ネットワークサービスにつきましては、MSP(※2)サービスやホスティングサービスは堅調に推移しており、システム開発につきましては、不動産業務支援システム「FutureVision®Plus」の既存顧客への業務支援を中心に新規顧客の開拓に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は15,550百万円(前第3四半期連結累計期間14,115百万円)となり、セグメント利益は4,122百万円(前第3四半期連結累計期間3,617百万円)となりました。

不動産事業

不動産事業は、社宅管理代行サービス及びテナント運営サービス等から構成されております。

社宅管理代行サービスについては、既存顧客との連携強化による新規顧客の獲得に注力し、取扱い件数の拡大を目指してまいりました。福利厚生借上社宅サービスについては、福利厚生のひとつとしてアプローチすることで、

顧客の幅を広げ、新たな顧客獲得に注力してまいりました。また、不動産事業を通じた当社の各種サービスの拡販に向けて、提携不動産会社との相互協力体制の強化してまいりました。

テナント運営サービスにつきましては、複合施設「LIVINGTOWN みなとみらい」において、立地環境を活かした各種イベントを実施し、認知度と集客力の向上に努め、地域における同施設の価値を高めてまいりました。

以上の結果、売上高は460百万円（前第3四半期連結累計期間245百万円）となり、セグメント利益は6百万円（前第3四半期連結累計期間セグメント損失50百万円）となりました。

- ※1 ISP : Internet Service Providerの略。公衆通信回線等を經由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者
- ※2 MSP : Managed Service Providerの略。顧客の利用するコンピュータやネットワーク等のITシステムの運用や監視、保守等を行い、利用可能な状態に維持するサービスを提供する事業者

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ789百万円増加し、15,770百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加763百万円、原材料及び貯蔵品の増加148百万円、賃貸資産の増加373百万円、投資有価証券の増加180百万円、流動資産その他の減少149百万円、有形固定資産その他の減少380百万円、リース資産の減少148百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ836百万円減少し、5,307百万円となりました。主な減少理由は、リース債務307百万円、未払法人税等547百万円であります。

純資産合計につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益2,039百万円の計上、剰余金の配当430百万円等により10,463百万円となり、自己資本比率は66.3%となりました。

② 資金の源泉

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、総資産の34.3%を占める5,408百万円であり、将来の予想可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の通期業績につきましては、2024年6月14日付「2024年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,645,481	5,408,633
受取手形、売掛金及び契約資産	3,961,861	3,885,001
リース債権及びリース投資資産	926,302	968,868
商品及び製品	60	60
仕掛品	194,001	311,030
原材料及び貯蔵品	1,978,441	2,126,815
その他	388,940	239,466
貸倒引当金	△1,575	△1,554
流動資産合計	12,093,513	12,938,321
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	1,178,585	1,552,276
リース資産(純額)	359,792	211,702
その他(純額)	438,353	57,359
有形固定資産合計	1,976,731	1,821,338
無形固定資産	67,335	70,414
投資その他の資産		
投資有価証券	20,057	200,180
長期貸付金	1,496,914	1,496,914
その他	828,269	745,558
貸倒引当金	△1,501,734	△1,501,812
投資その他の資産合計	843,505	940,841
固定資産合計	2,887,572	2,832,593
資産合計	14,981,086	15,770,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,485,916	1,526,036
1年内返済予定の長期借入金	1,050,378	965,432
リース債務	390,165	260,047
未払金	181,691	147,896
未払法人税等	832,537	285,131
賞与引当金	136,139	66,293
役員賞与引当金	—	7,424
その他	386,541	519,774
流動負債合計	4,463,369	3,778,036
固定負債		
長期借入金	1,061,243	1,074,648
リース債務	316,210	139,152
役員退職慰労引当金	60,527	60,527
株式給付引当金	—	3,517
退職給付に係る負債	66,206	70,326
資産除去債務	94,074	96,214
その他	82,062	84,995
固定負債合計	1,680,323	1,529,380
負債合計	6,143,693	5,307,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	195,310	195,310
資本剰余金	120,445	154,207
利益剰余金	9,525,852	11,134,017
自己株式	△1,042,114	△1,025,693
株主資本合計	8,799,494	10,457,841
株式引受権	37,898	5,657
純資産合計	8,837,392	10,463,498
負債純資産合計	14,981,086	15,770,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	14,355,004	15,999,652
売上原価	10,048,122	11,047,901
売上総利益	4,306,881	4,951,751
販売費及び一般管理費	1,772,398	1,969,734
営業利益	2,534,482	2,982,017
営業外収益		
違約金収入	17,557	14,319
その他	3,843	3,055
営業外収益合計	21,400	17,375
営業外費用		
支払利息	23,511	16,303
解約手数料	2,612	1,250
社債発行費償却	1,219	—
その他	251	—
営業外費用合計	27,594	17,553
経常利益	2,528,288	2,981,839
特別利益		
投資有価証券売却益	—	203
特別利益合計	—	203
特別損失		
固定資産除却損	2,023	99
特別損失合計	2,023	99
税金等調整前四半期純利益	2,526,265	2,981,942
法人税、住民税及び事業税	780,476	854,451
法人税等調整額	31,220	88,434
法人税等合計	811,697	942,886
四半期純利益	1,714,567	2,039,056
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,855	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,717,423	2,039,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	1,714,567	2,039,056
四半期包括利益	1,714,567	2,039,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,717,423	2,039,056
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,855	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	315,134千円	253,453千円
のれんの償却額	1,250千円	一千円

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	HomeIT事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,110,272	244,731	14,355,004	—	14,355,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,870	760	5,630	△5,630	—
計	14,115,142	245,491	14,360,634	△5,630	14,355,004
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	3,617,472	△50,154	3,567,318	△1,032,835	2,534,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,032,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年5月1日 至 2025年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	HomeIT事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,549,573	450,078	15,999,652	—	15,999,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	479	10,620	11,099	△11,099	—
計	15,550,052	460,698	16,010,751	△11,099	15,999,652
セグメント利益	4,122,162	6,942	4,129,105	△1,147,087	2,982,017

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,147,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。